

2024年度 自己点検・自己評価報告書

2025 月 6 月 24 日

学校法人 二葉総合学園

吉祥寺二葉製菓専門職学校

2025 年 7 月 10 日作成

※旧 学校法人古屋学園 二葉製菓専門学校
2022 年 4 月 1 日 法人名および学校名変更

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1	基準 4 教育成果.....	24
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	2	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか.....	2825
1-2 学校の特色はなにか.....	3	4-19 資格取得率の向上が図られているか.....	2826
1-3 学校の将来構想を抱いているか.....	4	4-20 退学率の低減が図られているか.....	2827
基準 2 学校運営	5	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか..	2828
2-4 運営方針は定められているか.....	6	基準 5 学生支援.....	29
2-5 事業計画は定められているか.....	7	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	2830
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか.....	8	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか..	2831
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか.....	98	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか.....	2832
2-8 意思決定システムは確立されているか.....	11	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか.....	2833
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか.....	2834
基準 3 教育活動.....	2813	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	2835
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか.....	2814	5-28 保護者と適切に連携しているか.....	2836
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか.....	2815	5-29 卒業生への支援体制はあるか.....	2837
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか.....	2816	基準 6 教育環境	2838
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか.....	2817	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか.....	2839
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	2818	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	2840
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか.....	2819	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	2841
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか.....	2822		
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	2823		

基準 7 学生の募集と受け入れ.....2843

- 7-33 学生募集活動は、適正に行われているか..... 2844
- 7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 2845
- 7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.. 2846
- 7-36 学納金は妥当なものとなっているか..... 2847

基準 8 財務2848

- 8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか..... 2851
- 8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか..... 2852
- 8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか..... 2853
- 8-40 財務情報公開の体制整備はできているか..... 2854

基準 9 法令等の遵守..... 55

- 9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか..... 56
- 9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.... 57
- 9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.... 58
- 9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか..... 59

基準 10 社会貢献.....6360

- 10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか. 6361
- 10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか..... 6363

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の教育理念・目的・育成人材像は明確且つ具体的に示されており、学生や教職員等学校関係者だけではなく学外にも公表されている。 学外実習において、職業意識・衛生知識・技能・コミュニケーション力など、働き方教育を行い、人材育成を行っている。 教職員の業界貢献・地域貢献を目標にした講習会や商品共同開発等に積極的に参画している。 教職員が社会の変化に敏感に対応できるように専門分野のスキルアップを進めている。 職業実践教育の中核的機関として、多様な学習者のニーズや社会の様々な要請に的確に応える学習機会を提供する為、「企業向け・学生向け・一般向け・児童向け」の各種講習会やオープンキャンパスなどを開講している。	<建学の理念>【涵養の精神と職業人としての自立】 <建学の精神> 1. 高度な専門知識及び技術の習得 2. 徹底した実践教育 3. 人間性豊かな明晰なる感性の涵養 <中間的構想> 「学校品質向上 5 カ年計画」終了（2010 年 4 月～2015 年 3 月） 「新世二葉」中期計画（3 カ年計画）終了（2015 年 4 月～2018 年 3 月） 「新世二葉セカンドステージ」～2 カ年計画～（2018 年 4 月～2020 年 3 月） 「FUTABA 中期計画」3 カ年計画（2020 年 4 月～2022 年 3 月） 「FUTABA 中期計画」3 カ年計画（2022 年 4 月～2025 年 3 月） 1. 2022 年 3 月より 2025 年 3 月迄段階的にエアコンの改修工事 2. 新学科及び科学的実験、検証についての委員会設立（2023 年度） 3. 製菓校の授業の見直し 4. 栄養校の授業の見直し 5. 理事会、評議員会の役割の確認 <2024 年度目標> 1. 創立 90 周年記念事業準備委員会立ち上げ 2. VR 活用実験開始 3. 教職員向け基礎講座・セミナーの体系亭取組 4. ガバナンス改革 5. 個々のパーパスの確立と浸透 何をするために二葉に入職したのか？何を目標としているのか？

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明瞭、具体的に定めている。	理念・目的・育成人材像について学則及び学校業務運営体制等で示している。	特になし。	・学則 ・校務分掌 ・入学案内 ・FUTABA 中期計画
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	カリキュラムの工夫と専門教育等具体的な計画と職場での実地研修を定期的に取り入れている。	基本理念・目的・育成人材像を基に、中期目標及び単年度研修目標を設定している。	特になし。	・校務分掌 ・学校案内 ・FUTABA 中期計画 ・連携企業研修計画表 ・学生企業研修ノート
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	時代の変化に対応する為、外部からの情報収集を積極的に行いながら内容の見直し等、迅速に行っている。	時代のニーズに合わせ、職員の企業研修と企業向けの技術講習会・研修会に積極的に参加し、その内容を授業に反映している。	特になし	・ホームページ ・職員研修報告書
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学内はもとより学外（業界関係）にも広く周知を行っている。	校内に建学の精神を掲げるとともに、ホームページ等で広く周知を図っている。	特になし。	・学校案内 ・学校関係者評価（HP） ・入学案内

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念・目的・育成人材像は具体的且つ明確に示されている。時代の変化に合わせ常に見直しを図っている。又、外部からの意見や情報について積極的に入力を行っている。学生の職業意識を上げる工夫を企業側と学校側の両方で連携強化しながら方策を考え進めている。	「建学の精神」や「建学の理念」は教育の理念・目的でもある。時代の変化に合わせ見直しを行うなかで、2020 年度から「FUTABA 中間計画」として3 年計画を定め実施している。現在は 2023 年度からの新たな「FUTABA 中間計画」を遂行中である。創立 90 周年に向けて、社会の変化に柔軟に対応するため、新学科の設立等新たな方向性を検討することとなった。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	実践的で専門性の高い実学教育とホスピタリティー教育を取入れた授業を特色としている。	2年コースではより専門性を重視し、少人数クラス編成で実習を行い、職業意識を持たせている。 職業実践専門課程認定校	特になし	・学校案内 ・三鷹店舗付実習室 ・企業研修ノート ・入学案内 ・授業編成表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校の特色は実務教育による実践力であり以下の4点を整備している。 1. 実習内容により少人数クラス編成の充実した教育設備環境 2. 国際水準の講師陣による高度な技術を基に実践的な授業の実施 3. 連携企業との職場実地研修の実施（職業実践専門課程） 4. 実践力・創造力・自己啓発力等を合わせた自立力のある人材育成	姉妹校として併設されている吉祥寺二葉栄養調理専門職学校を利用した2年制のグランシェフコースは本校の目玉コースであり、その特色は高く評価されている（各コースは学園内進学システム）。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	学校の中期計画（3 か年）で明確化され、目標達成を目指している。人事考課制度により人材育成を行っている。	2020 年度より、新たに F U T A B A 中期計画（3 カ年）を定めており、2023 年度より新たな計画を策定、遂行中である。	特になし	・校務分掌 ・人事考課制度 ・理事会議事録 ・FUTABA 中期計画（3 カ年）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期的構想に基づき、ハード面の環境整備や教員のスキルアップ等さらなる教育の質の向上を図っている。	少子化、同職種養成校の増加ならびに大学全入学時代の到来により、全学科での定員確保が最優先課題である。創立 90 周年に向けて、社会変化に適応した新たな方向性を検討する必要がある。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は明確な組織化と職務分掌に基づき実行されている。さらに、組織運営および意思決定の実効性をより高めるべく、今後一層の工夫と努力が必要である。 2019 年度から高等教育無償化確認校となり、入学しやすい学校と周知し、より積極的に学生支援を行っている。 2022 年度には 4 号館実習室師範デモ用大理石付コールドテーブル 2 台、実習室内学生用冷蔵ショーケース 2 台の入替工事を実施し、実習作業面、衛生面の改善をおこない、より優れた環境にて製菓製パン実習を展開している。	1. 法人組織図 2. 校務分掌 3. 学校品質向上 5 カ年計画（終了） 4. 古屋学園奨学金貸与規定 5. 学籍管理システム 6. 新生二葉 中期計画（3 カ年）（終了） 7. 新生二葉セカンドステージ～2 カ年計画～策定 8. FUTABA 中期計画（2023 年 4 月からスタート、3 カ年）

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	運営方針は明確にされている。	年度事業計画・中期計画等の策定および年度当初会議での運営方針の説明。	特になし。	・学校品質向上5カ年計画 ・新生二葉・中間計画（3カ年） ・新生二葉セカンドステージ～2カ計画～ ・FUTABA 中期計画（3カ年）
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	運営方針を適宜伝え、周知徹底している。	事業計画等を運営会議等で報告、検討している。	特になし。	・各種委員会 ・会議議事録 ・運営会議議事録 ・定例会議事録 ・科内会議議事録
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	4	必要な規定は適宜整備しているが、必要に応じて改定していく。	適宜、見直し・整備を心がけている。	現存する規定集の定期的な見直し作業ならびに今後必要と考えられる規定集作成を進める。	・各種委員会等規則 ・規定

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営方針は中期計画を基に、年度毎に明確に定められ、教職員に示されている。「FUTABA 中間目標（2023年度よりスタート、3カ年）の重点項目一覧ならびに単年度計画を校内に掲示し、常時確認できる体制をとっている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	年度毎の計画を定めており、教職員に提示している。	年度毎の事業計画、年間行事予定表。	特になし。	・年間事業計画 ・年間行事予定表
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	5	事業計画は適切に運営されている。	事業計画の実施は各種会議等で常時検討している。	特になし。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画は、年間行事計画および予算企画案に基づくヒアリングの実施により、適切に運営されている。	特になし。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	法人組織図が整備されている。	法人組織図。	特になし。	・法人組織図
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	組織図等に基づいた会議の開催により、組織運営及び意思決定を行っている。	法人理事会、評議員会、定例会および諸会議の開催。	特になし。	・理事会議事録 ・評議員会議事録 ・定例会議事録 ・運営会議議事録 ・科内会議議事録
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	校務分掌により明確になっている。	校務分掌。	特になし。	・校務分掌

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は、「法人組織図」、「校務分掌」に基づき実行されているが、より機能性、実効性を高めるために、意思決定機能を強化させる必要がある。	グループウェア導入により、業務の効率化につながることが期待できるが、いまだに活用できていない部分もある。今後、研修等を通じて、全教職員が十分に活用することにより、業務遂行時間の短縮化に期待する。

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	採用責任を明確にし、人事考課項目と連動した面接評定書を備える採用稟議書制度に則り、公募による人事確保を行っている。	採用段階で入職後の人事考課項目と連動させることで人材目標を明確にしている。 PC スキル・ハラスメントなど研修会を実施した。	人材目標の具現化。採用・教育・配属・評価・処遇の一連の流れを全教職員の共通理解としていく。	・人事考課制度 ・採用稟議書 ・人事異動申請書 ・退職面談票
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	評価結果が昇給・昇格に直結する人事考課制度を整備した。	給与体系・昇給・昇格と相互にリンクする人事考課制度へ改定して2年が経過するが特段の問題は発生していない。	職種毎に分類された評価項目となっているが、大学をはじめとして専門学校を取り巻く環境が変化している。変化対応するためにチャレンジできる人材目標を考課項目の比重を高める必要がある。	・建学の理念 ・中期経営計画書 ・学校事業計画 ・成長育成シート ・「人事評価制度ガイドブック」 ・「職務要件記述書」
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	職群・等級毎に職務要件記述書を整備してキャリアパスを明確にした。	各校長と協議して策定したキャリアパスを評議会・理事会で決議し、全教職員に展開している。新たに「人事評価制度ガイドブック」・「職務要件記述書」をグループウェアで共有した。	成長育成シートの浸透による、公正性・納得性のおよび内発的動機付け。等級毎に必要な教育研修を定義して包括的な人事制度を構築していく	・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度 ・人事異動申請書 ・「人事評価制度ガイドブック」 ・「職務要件記述書」
2-7-12 賃金制度は整備されているか	4	評価結果が昇給・昇格に直結する賃金制度を整備した。	改定した人事評価制度と直結として整備された。 賃上げと法人の永続性に留意して、昇給原資を理事会決議とする仕組みが始動した。	評価結果による昇給額は全般的になだらかで有意な差異はない。原資に限られる中、公平性を鑑みた評価と昇給額となるようリバランスが必要。	・人事考課制度 ・賃金制度 ・昇進昇格制度 ・就業規則 ・給与規定 ・「人事評価制度ガイドブック」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題と方向	参考資料
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。	就業規則を根拠として、採用フローに関連する帳票類も整備されている。 その他、正職員登用制度も整備されている。	特になし。	・就業規則 ・採用稟議書 ・給与規程 ・面接評定票 ・成長育成シート
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	増減発生があった場合、その都度、組織図をメンテナンスし、グループウェアで共有している。	特になし。	・法人組織図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現行制度に改定され2年が経過した。昇給原資を理事会決議とするなど滞りなく運用できるようになった。	財務状況と社会情勢を鑑みた給与体系と評価項目のメンテナンスが必要と思料する。

最終更新日付	2025年5月29日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	理事会を頂点とし、各会において検討決定実施のシステムが整備されている。	理事会、評議員会、定例会、運営会議、科内会議の実施。	特になし。	・理事会議事録 ・評議員会議事録 ・定例会議事録 ・運営会議議事録 ・科内会議議事録
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	同上	同上	同上	同上
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	階層・権限等のシステムは明確である。人材育成についてはいまだに完成には至っていない。	「法人組織図」に示す通り、各部署の管理職者および教員を補佐するアシスタント職の人材が常時不足している。	意思決定・システム運営に適している人材の確保および教員育成のさらなる充実。	・法人組織図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定のシステムは確立されている。 各部署での責任の所在を明確にすることにより業務の効率化・スピードアップを図っているが、十分に機能していない面もある。学校運営の中核に必要な人材育成が急務の課題である。	人材育成には多くの時間がかかるが、2024 年度は、育成が少しずつではあるが進んでいる。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	情報システム担当者を配置し IT 機器の整備・管理・運用に努めている。 学生ポータル掲示板を導入し、学生への情報伝達の速度を速めている。	情報ネットワークの整備および「学籍管理システム」の導入・運用を図っている。 学生ポータル掲示板を導入し、各学生がスマートフォンにて伝達事項をすぐに見られるようになり、担任の業務負担の軽減につながっている。	システム運用のさらなる向上と適任なる人材をさらに確保・育成する。	・学籍管理システム ・IT 関連研修会報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システムの整備・有効活用に努めており、業務の効率化により校務運営および教育・授業等の向上が図られている。	情報システム担当者を配置している。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
厳しい経済状況の中、専修学校が生き残っていく為には即戦力となる高度な職業実践的教育の提供が必要である。それには提供側の教員にその意識とスキルを持ち合わせる事が肝要である。本年度は、学校行事等の多くを教職員が自ら考え企画・実践をすることを進め、常に新しいことにチャレンジするトライアル&エラーの精神が出来始めている。また、教職員の姿勢が学生に伝播し、実学教育の実践の場である製菓・製パン・ショコラティエ実習では、1年制専門課程・2年制専門課程の学生がそれぞれ実習課題を持って取り組むことが出来た。企業連携では吉祥寺丸井店との連携によるパン販売や三鷹での地域販売など製造・販売の実務研修を行なった。教職員では専門性、資格等必要条件を備えた教員の育成・確保に努めている。 校長による教員の専門性や講義力・実習力の把握・評価を適宜行っており、さらに向上させるための研修会・講習会等の参加を積極的に行っている。 教職員のスキルアップに関してはジャパンケーキショー東京など、業界のコンテストに参加をすることにより、確実にスキルアップに繋がり授業にも反映されている。 単位認定の基準はあいまいな部分が多く、改善を早急に行っていかななくてはならない。 製菓衛生師の資格取得に向け対策を実施している。 学生の実地研修において職業実践連携企業での実地研修が制度化され前期・後期に実施されている。	<各種資格> 製菓衛生師認定校（受験資格） 衛生分野専門士取得 職業実践専門課程 パティスリーモードヌ科 パティスリーメティエ科 ■学生企業実地研修の実施（夏期・冬期） ■自己啓発活動の推進・ホスピタリティー教育の推進 ■オープンキャンパス・講習会・公開講座等の開講 ■学校関係者評価委員会の開催 ■教育課程編成委員会での業界との連携による改善 ■地域コミュニティー・業界との連携強化及びイベント等の参画 ■学校年間行事・イベント内容の見直し・改善の実施

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	業界の必要としている人材を育成できているか、模索しているところである。	学外研修で各企業にて必要な人材についてお話を伺うと、企業によりばらつきはあるが報告・連絡・相談を求めている企業が多くある。	企業との情報交換の場を大切に、それぞれの意見をまとめ、授業にとりいれていく。 また より連携を強化し情報収集を図っていく。	・学校案内 ・校外実習表 ・年間企業研修計画書 ・企業連携協定書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
積極的に業界ニーズの把握に努め、企業形態別に学生へのフィードバックを心掛ける。就職支援室による業界研究会・就職セミナーの実施をしている。企業研修実施により学生の職業意識向上に努めている。	企業・業界説明会・企業セミナー等を通して働く事への意識向上に努めていく。 就職支援室とのスピード感を持った連携強化が今後も肝要である。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3	明確に示された目標点などは実習内容などの調整により定められている。	到達可能レベルを入学時に示し、クラスごとの到達点を明確にしている。	よりわかりやすく、その都度見直しを行いながら企業が必要とする人材育成を目指す。	・学則 ・シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会が必要としている人材を確認しながら到達点や過程などこまめに変更追加など行っていくのが重要である。	業界の人材ニーズレベルが年々向上し、学生が習得する実務教育として専門性の高い知識・技術・食品衛生管理・SDGs 教育などに関する知識が増えている。更にチャレンジ精神・コミュニケーション能力・勤務意欲・社会マナー・自己啓発等の順応性が就職先で重要になっている。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	カリキュラムは遂行されているが、目標に対しての達成率で見ると、十分な内容とまでは到達をしていない。	製菓実習では学生の反応を見ながら内容調整しているが、体系的にできているか模索中である。	シラバス作成時に年間の目標などを早い段階から話し合いより一定の体系に仕上げていく。	・学則 ・シラバス
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	年度ごとのカリキュラム見直しの際、業界関係者の意見を完全には反映できていない。	教育課程編成委員会を開催して業界関係者等の意見、現場での意見を教職員全体で共有できていない部分がある。	業界関係者の意見を職員で精査するために委員会を設立する。	・教育課程編成委員会 議事録 ・シラバス
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	カリキュラム編成は達成されているが、まだ修正していかなくてはいけない部分はある。	教育課程編成委員会で示された内容を基に、カリキュラム編成委員会を実施していく。	委員会と外部の連携企業などとの意見交換の場を増やしていく。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・教育課程編成委員会 議事録
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	学則の変更などを行いカリキュラムの見直しなどは行っているが、委員会などの意見が反映しきれていない部分が見受けられる。	実習のカリキュラムの変更は限られた人数で行われているのが原因ではないか。	カリキュラム確認委員会を開催し、時代にあわせたカリキュラム変更を定期的に行っていく。	・授業編成表（時間割） ・シラバス ・学校関係者評価委員会 議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持たさなくてはならない、今後、業界等外部委員の意見を取り入れた職業実践に沿った内容にして行かなければならない。	学校関係者評価委員会での意見・要望を取り入れていく。 教育課程編成委員会での意見・要望を取り入れていく。 授業編成検討委員会を設立する。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	4	各学科の到着目標を基に、適切な位置付けがされている。	授業科目、教育内容、年間時間数が明確に定められている。	到達位置については製菓校全体で揃えたものを用意し、位置づけを明確にする。	・学則 ・入学案内 ・シラバス
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	4	学科目ごとにシラバスを作成している。	より細かな授業概要及び到達目標、授業計画が記載されたシラバスを作成していく。	委員会を立ち上げより詳細な部分まで仕上げていく。	・シラバス
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	各科目のシラバスは作成されている	学科講義担当講師にシラバスの作成を依頼し授業を進めていただいている。	各担当講師と細部まで話し合い、調整を行っていく。	・シラバス

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、実習・学科講義シラバスについては細分化した内容にすることで、より学びの明確化を心掛けているが、どこかのタイミングで確認し、経過を確認すべきである。	特になし。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	学生による授業アンケートを前期、後期とおこなっており、数字やコメントにて評価が出来ている。	考えや言動、行動などを深く省みるリフレクションシートを活用して評価と課題を確認できている。	特になし。	・学生授業アンケート ・リフレクションシート
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	5	適宜検討のシステム自体は存在しない 担当者に任せているのが現状である。	最終授業時、アンケートの返却を求めている。	特になし。	・学生授業アンケート ・リフレクションシート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全学生において前後期に QR コードを用いてアンケートを行う。各教員に対してはリフレクションシートへの回答を求め、結果の公表を行っている。	各教員から提出されたリフレクションシートを精査・フィードバックし、次につなげる体制をとっている。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標 に向け授業を行うことがで きる要件（専門性・人間性・ 教授力・必要資格等）を備 えた教員を確保しているか	4	専門性、資格等必要条件を 備えた教員を確保している。	採用時の面接 教員履歴書により確認。 その資質技術を確認してい る。	専門性を高めていただく ためのサポートの充実度を 明確にしていく。	・研究業績書 ・教員調書
3-15-13 教員の専門性 レベルは、業界レベル に十分対応しているか	4	専門性については一定以 上のレベルにはあると思わ れる。	教員・講師の採用に関して は、専門性のレベルや鮮度の 観点から職歴・更新期間を配 慮している。	専門性を高めていただく ためのサポートの充実度を 明確にしていく	・研究業績書 ・教員調書
3-15-14 教員の専門性 を適宜把握し、評価し ているか	4	校長や副校長による教員 の専門性の把握と評価を適 宜している。	特に授業成果に問題がみ られる教員について面談し、 行い指導を行っていく。	専門性は十分に評価し、採 用をしている。 気になる事柄などあれば、直 接話を聞き調整を行う。	・研究業績書 ・教員調書
3-15-15 教員の専門性 を向上させる研修を行 っているか	4	業界のコンクールなどに 専任講師、助手が参加をして 専門性の向上を行っている。	コンクールに参加するこ とにより技術を向上してい る。	参加職員はその都度報告 書の提出を義務づけ、面談を 行う。	・教員研修報告書 ・研究業績書 ・教員調書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力 (インストラクション スキル)を適宜把握し、 評価しているか	4	校長・副校長による教員の 授業の実施状況の判断を行 っている。	必要に応じて面談し、評価 を行っている。	今後も定期的に面談し、評 価を行う。	・成長育成シート ・学生授業アンケート ・リフレクションシート
3-15-17 教員の教授力 (インストラクション スキル)を向上させる 研修を行っているか	4	学内・学外にて指導教員に よる研修会を開催している。	学外の研修会にも参加を 行った。	研修の案内がある場合実 施要項を精査し、必ず案内を 回覧する	・教員研修報告書 ・教員実務研修計画書 ・教員会議事録
3-15-18 教員間（非常 勤講師も含めて）で適 切に協業しているか	3	必要に応じ、教員間での協 力・協業は行われている。	教職員同士は行っている が非常勤講師へはなかなか 時間が取れなく困難な状況 である。	特定の教員だけに業務負 担がかかる場合があり、教員 間の平準化を徹底させいく ためにも講師会を開催する。 定期教職員会を開く。	・シラバス ・科内会議議事録
3-15-19 非常勤講師間 で適切に協業している か	3	体制はまだ十分とはいえ ないが改善されてきている。	開催時期は遅れてしまっ たが、講師会を行った。	来年度は講師会を新年度が 始まる前に開催し、各非常勤 講師の協業の調整を行う。	講師会議事録

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の 採用基準は明確か	5	採用基準を明確にし、複数の 教員で面接を実施	学歴、職歴、業績等を明 確にし、複数教員で面接を 行い総合的に判断する。	特になし	・面接評定書 ・教員調書 ・研究業績書 ・教員調書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門性・資格等必要条件を備えた教員を確保しているが充分ではない。 教員採用基準は明確になっている。又、非常勤講師との連携が時間的制約 もあり充分ではない部分については適切な時期に講師会など話し合える場 所などを提供していく。	専門性の高い科目については、常に学生が理解しやすい、解り易い授業内 容になるように依頼を行なっている。 業界では求められるスキルが日々変化している。教員はそのニーズに見合 った専門性を高めていくことが必要。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	学則に従っている成績評価、取得単位時間数を明確にしている。	学業評価及び課程修了要件、修得単位時間数を学則に定めている。	特になし。	・学則 ・前期後期定期試験 ・進級卒業判定会議 ・修了認定等に関する規定 ・ホームページ
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	2	明確な単位互換制度が確立されていない。	特になし。	明確な基準を作成し、単位制への移行を整理する必要がある。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については明確に規定されているが、専門課程・一般課程については他の高等教育機関との単位互換に関して明確な基準がない。 評価基準詳細及び卒業基準詳細に明記しているが、互換システムを確立していきたい。	年間：前期試験・後期試験の定期試験を設けている。 前期・後期企業研修での成績を定期試験結果に反映している。 他の高等教育機関との単位互換については、これまではニーズがなく、確立されていない。単位制度については今後委員会を立ち上げ、規約の整備を行うことが急務である。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	3	進んではいるが1年制の製菓製パン科に関しては明確な目標が定められていない。	取得可能な資格は学科やカリキュラムごとに明記されている。	今後、民間資格などを精査し資格の案内を行う。	・入学案内 ・ホームページ
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	パティスリーメティエ科の、資格取得（製菓衛生師）を十分にサポートできる内容となっている。 他に民間資格取得に対しても、サポート体制を強化する必要がある。	製菓衛生師試験については、対策講座を行っている。（4月・5月・6月 実施） 民間資格の精査が進んでいない。	製菓衛生師試験に関しては従来を維持。 民間資格については、資格内容を精査しサポート体制を整える。	・入学案内 ・製菓衛生師試験対策講座実施予定表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2年制に関しては取得できる各種資格は学科ごとに明記され万全な体制をとっている。1年制の製菓製パン科に関しては在学中の民間資格を精査し、今後は資格取得を目指したい。	1年制の製菓製パン科に関しては民間の資格を精査し、学生本人が希望する資格が取得できるようにいくつかの候補を提示、サポートできるようにする。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校についての教育成果の数値指標は次の 4 点であるとする。 1. 進路決定率及び就職率 2. 製菓衛生師試験合格率 3. 中途退学率 4. 製菓外部コンテスト学生部門受賞実績 本年度の専門課程の就職率は 100%であった。 製菓衛生師試験合格率は東京都製菓衛生師試験で 100%であった。（東京都の平均は 68.7%。全国の平均は 71.9%） ジャパンケーキショー学生部門に出品したが入賞者はいなかった。出展した作品は二葉祭（学園祭）で、1 号館に展示し、一般の方にも観覧いただいた。 中途退学率については 6.8%と昨年度よりは低下した。 メンタル面で不安を抱えている学生には、コミュニケーションをとり、学生に寄り添った指導や学園保健師との連携による心のケアを行っている。 経済的な理由を抱えている学生には、奨学金制度の利用を勧めている。	■専門課程 ・ジャパンケーキショーが開催となり、パティスリーモデース科 2 年・パティスリーメティエ科 2 年がエコール部門 バタークリーム仕上げデコレーション作品を全員が製作品。 ・製菓衛生師受験

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	就職活動時に個々の面接を実施し、就職希望企業に沿って就職支援室と連携をとりながら指導をしている。	今年は就職率 100%であった。 各学科別に就職・業界説明会を開催。	特になし。	・年間行事予定表 ・年度別就職状況一覧 ・就職支援セミナーの実施
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	就職支援室と製菓校が一体となり、クラス別就職先一覧を作成し明確に把握している。企業からの求人票の閲覧の開放を行っている。	就職支援室主催の業界説明会・就職セミナー・説明会等の業界関係者との情報共有を行っている。	特になし。	・年度別就職状況 ・クラス別就職先一覧 ・就職支援セミナーの実施

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職率の向上に関しては、就職支援室を中心に就職セミナー・企業訪問・求人依頼等、情報共有を行いながら企業開拓を進めている。	学生の中にはメールや履歴書の作成が困難なことがあり、多くの時間を費やした。面接も対面の方が WEB より増加傾向にあり、対面での面接の練習を何度も行った。今後も担任や就職支援室等と連携を取り、素早い対応と情報収集にあたり、担任による面談の実施、就職活動のサポートを行い、学生の就職意識を高める必要がある。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	3	製菓衛生師試験対策講座を実施する等、取得率向上を図っている。 民間資格の取得については、強化が必要である。	製菓衛生師試験は日程に沿って対策講座を実施し解答率の低い科目を中心に授業を行っている。 民間資格については資格内容を精査検討中。	製菓衛生師試験対策と同様に、民間資格についてもサポート体制を強化する。	・製菓衛生師試験問題（東京都） ・製菓衛生師試験対策講座予定表
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	製菓衛生師試験については、明確に把握している。 民間資格については取得に向け、情報収集段階。	全国平均合格率と照らした本校の合格率を表にし、次年度への検討材料としている。 民間資格については資格内容を精査検討中。	製菓衛生師試験対策と同様に、民間資格についてもサポート体制を強化する。	・製菓衛生師試験問題（東京都）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
製菓衛生師試験に対しては、試験科目ごとに試験対策講座日程に沿って試験問題対策を工夫し、学生面談等により受験サポートを実施し資格取得率の向上を図っている。 民間資格については十分に案内ができていない現状となっている。	放課後等の時間で学科担当教員による個人サポートや模擬試験を行い本番に向けての補講を実施している。 試験対策にて不得手な学科についてのフォローアップを行っている 民間資格についても、資格取得サポート体制を整える必要がある。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が図られているか	3	各担任による個別面談・三者面談を通じて退学率の低減を図っている。	家庭内のこと、進路のことについてはプライバシーがあるため、内密に個別対応を行っている。	スクールカウンセリングや保護者との連携を図り、学生の不安・悩みの軽減を図っているが、専門家の助言が今後は、必要である。	・退学届所見書 ・学級日誌（クラス別） ・科内会議議事録
4-22-6 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	年度ごとの集計により、明確に把握している。	退学者については、退学に至る経緯書を各担任が提出し、情報の共有を図っている。	特になし。	・退学に至る経緯書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任制で個別指導により退学率の低減を図っているが、家庭の経済状況や進路変更が退学の理由となれば引き留めることは難しく、受け入れざるを得ない。コロナ禍の状況による影響で金銭や健康等が退学の一因となっている。今年度はコミュニケーション、人間関係構築不足等メンタル面による原因が多くなっており、保護者や学園保健師との連携をさらに強化していく必要がある。	個別面談・三者面談等の実施

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的活躍及び評価を把握しているか	3	在校生はもちろんのこと、卒業生についても積極的に情報を得よう努めている。	土日開催イベントのため、店舗などで働く卒業生は来校が難しく情報が把握できにくい。	今年度は SNS を多用して卒業生・高校生に学校情報・実習風景等の公開をする。	・業界各企業の HP ・学校案内 ・業界誌 ・インスタグラム
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	起業している卒業生や企業で活躍している卒業生による現場体験談の講話を実施業界誌等にお店の紹介を行なっている。	卒業生の活躍を随時WEBで公開をしている。	より積極的な情報収集。就職後の製菓衛生師受験のサポートを行っている。	・業界各企業の HP ・学校案内 ・業界誌 ・学校Instagram ・学校 HP
4-21-9 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	5	多くの卒業生・在校生が外部コンテストに参加し、卒業生が入賞。	教員(卒業生)及び卒業生がコンクールにて入賞。	特になし。	・業界各企業の HP ・学校案内 ・業界誌 ・学校Instagram
4-21-10 在学生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	5	在校生は入賞を逃したが、卒業生が外部コンテストで優秀な成績を収めた。	ジャパンケーキショー東京にて教員(卒業生)及び、卒業生が入賞。	特になし。	・業界各企業の HP ・学校案内 ・業界誌

5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生・在校生ともに社会的活躍をしている。それらをタイムリーに外部発信する手段としての学校のホームページ・Instagram等をさらに充実させていかなければならない。	活躍している卒業生の勤務企業からの、現場研修の依頼が増えている。就職後の資格等の受験サポートや製菓コンクール参加のための技術サポートも行っている。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生支援として、在学中における就職指導、学習・生活面での相談・健康管理、経済面の相談などが挙げられる。各項目別の総括は以下の通りとなる。 ・就職を中心とした進路支援では、専任職員を配し、学生の適性を見極め個別の進路支援を行い、卒業生に対しても相談の際には対応している。又、卒業生に対しては転職相談や仕事における技術的相談等も同様に対応している。 ・卒業年度対象の東京都労働基準協会連合会委託講師による労働条件セミナーを開講している。 ・卒業年度対象の日本年金機構武蔵野年金事務所講師による年金セミナーを開講している。 ・卒業クラス対象の各企業講師による各業界説明会及び身嗜みセミナーを就職活動に合わせて 4 月末～7 月に集中して開講している。 ・学習支援においては、通常授業の補講はもちろんのこと、学生の自主研究課題に対するアドバイス等も放課後を利用し行っている。生活面では担任が面談、生活指導を行う体制を敷いており、バックアップ体制として教員全体で状況に応じて対応している。 ・健康面では入学時に健康診断を実施し、個々の健康状態を学校医及び担任が把握している。 ・経済的な相談窓口として担当職員が対応し、奨学金等の支援を実施している。学費納入に関する相談まで、個別に素早い対応を行っている。 （奨学金手続・分割納入・延期納入・各種証明書発行等） ・2019 年高等教育の無償化の対象機関と承認され学生の支援となっている。	・副校長・担任による個人面談及び保護者との三者面談などを行い指導。 ・外部より講師を招き、個人対象のキャリアカウンセリングを実施している。 ・学園就職支援室が中心になり製菓校就職担当と情報共有等の連携を行い、学生の就職指導が円滑に進み早い時期に内定が決まり、就職率の向上に繋がった。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	学園就職支援室を中心とし製菓校就職担当との連携による就活指導の体制が整備されている。	各専門課程とも、入学時より計画的に指導体制が構築されている。	特になし。	・進路状況調査票 ・各セミナー実施予定表 ・企業求人案内
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	実施しているが欠席者の増加傾向が不安材料である。	就職への意欲が低く、セミナーの重要性を理解していない。	セミナーを授業の一環とする。 毎回異なるセミナーや説明会であり、その意図を理解させること。	・年間行事予定表 ・就職支援セミナーパンフレット
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	就職支援室を中心に、担任及び実習担当による個別相談を適宜実施している。	担任による個人面談を中心に実施の上、担当者と連携を取っている。	特になし。	・企業求人案内 ・進路状況調査票
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	就職支援室・学生課が就職支援セミナー等で履歴書の書き方を指導している。	就職支援セミナー及び個人面談の中で、具体的に指導面接方法も実技指導により学生に安心感を持たせる。	特になし。	・就職支援セミナーテキスト ・履歴書記入例

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各クラス別の就職支援セミナー・就活に役立つビジネスマナー研修・業界研究会及び個別相談により個別での就職活動の援助、指導をおこなっているが、就職業種や仕事内容、職場環境に対する理解度に個人差がある。（就活に対する準備意識の差）	就職試験の面接は殆どが対面となっている。対面が苦手な学生の不安を解消するために面接練習を何度も実施している。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	各クラス担任を中心とした相談体制が整備されている。	2024年度の退学者は前年比7人から5人で70%、転科者は6人から0人に減少した。	教職員の連動が功を奏してはいるが、馴れが生じないように日々情報共有が必要である。	・学生満足度アンケート ・進路状況調査票
5-23-6 学生相談室を開設しているか	4	学生相談室は開設していないが、担任が中心となり随時対応している。	就職に関しては就職支援室。進学に関しては担任が相談に応じている。	相談時間の確保。	特になし。
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	外部より社会経験豊かなキャリアカウンセラーを配置している。メンタル面においては保健師に相談するように促している。	専門家が学生対応をすることで、教職員は時間を束縛されず、かつ学生本人により適切なアドバイスができる。	キャリアカウンセラーは在籍しているがメンタル面での専門カウンセラーが不在の為、今後も保健師にサポートを依頼したい。	・学園キャリアカウンセラー実施日程表。
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	5	専任の担当者を配置し、留学生の相談に対応している。	校長・副校長・担任・担当で体制を整備し常に情報の共有を行っている。	特になし。	特になし。

5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任・教務課長・校長とそれぞれの段階による学生相談を実施する体制を整備している。各担任は相談を待つのではなく、積極的な声掛けを行い、学生や保護者とのコミュニケーションを図り、学生のメンタルケアを推進している。	外部より講師を招き、個人対象のキャリアカウセリングを実施している。メンタル面に関しては現在保健師が対応しているが、今後は専門のメンタルカウンセラーの雇用が急務である。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	学費の延期納入及び分割納入に対応、奨学金制度の案内を含め整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	特になし。	・学生募集要項
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	入学時に各種奨学金制度の内容説明。制度を利用した奨学金受給者が年々増加している。	特になし。	・奨学金受給者一覧
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	学費の延期納入及び分割納入に対応し、経済的に支援する制度が整備されている。	学費の納入時に書面にて案内。奨学金制度については募集要項へ記載、入学時のガイダンスにて説明。	特になし。	・学生募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済状況に応じ、延納・分納等による経済的支援を行っており、ここ数年利用者が増加した。2019 度より高等教育の無償化対象校に指定されたので、今後、進学に伴う学費の負担が軽減されることで学生だけではなく学園にとっても有効であった。	学生の経済状況に合わせ、無利子での延納・分納に対応している。奨学金利用者が年々増加傾向にあるが、システムをよく理解できず利用できていない学生も存在する入学前よりオープンキャンパス等で口頭説明による授業料納入に関する不安の緩和を図っている。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	毎年4月に健康診断を行い、健康面への支援を行っている。	入学直後、在校生を含め全員を対象に実施している。 レントゲン・尿検査を実施している。	特になし。	・学生健康診断書
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3	受付にて保健室を管理している。	職員によりベッド、外用薬の常備品管理を行っている。	学生の健康管理を行うには、教員内で個人の持病を共有し対応している。	・学生健康診断書
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	4	学校医が在籍している。	メンタルケアが必要な学生が近年増加しているため、医師等の在籍は必須である。	病院の対応は教職員・担任が常に行なっている。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学時の病歴および既往歴が把握出来ないケースがあり、緊急時の対応が難しい面がある。個人情報保護法を遵守しつつも、各担任は学生の生活状況を正確に把握し、健康診断書等を参考に学生の健康管理を行っていく。	個人に不利益を招くおそれからか、病歴等を表記されない事がある。発作的病歴の有る場合は緊急時の対処用に医者診断書（コピー）を保護者に提出を依頼し、学校（担任）が厳重に管理し、対応を行っている。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	地域の子供たちに向けたハロウィンイベントや献血ルーム等のボランティアに参加をした。	地域のイベントへは積極的に参加。	イベントと授業が重なってしまった場合の人員配置が困難なため検討。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動については、活動時間の確保や安全問題など検討すべき課題があり、積極的な奨励・支援態勢はとっていない。現在は教員より学生へボランティア活動を促している。今後は学生の自主的な活動が検討する。	学生が参加しやすいように、日時や内容を吟味し就職活動の一環となるようにした。ボランティア活動は取り組む時間が確保されなくては困難であるため、土日や夏休み等を利用できるボランティアを計画していく。

最終更新日付

2025 年 5 月 20 日

記載責任者

廣江 真里

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5	管理人常駐の学生会館の紹介。三鷹に本学園の学生寮を完備。 自立進学制度の学生支援を行っている。	学生寮の設置（メゾン二葉寮）及び提携学生会館の紹介を行っている。 学園自立進学制度。	特になし。	・学校案内自立進学制度メゾン二葉入寮案内

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
遠隔地からの出身者は、学費以外に生活費や住宅費がかさみ、保護者への負担が大きくなっている。これらをいかに負担軽減することができるかが、学生を取り巻く環境整備への第一歩となる。企業と提携して、企業の寮に住み込んでアルバイトをしながら通学する自立進学制度や学生寮を設置している。	企業との連携による自立進学制度が確立している。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に 連携しているか	5	各担任が窓口となり、出来るだけ密接に連携をとっている。	担任制により欠席状況や学校での生活面を把握し、保護者に速やかに連絡を行い、対処している。(問題発生時)必要に応じ学生・保護者との面談等を実施。	特になし。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連絡は、適宜、担任が窓口として学生に関する情報共有するよう努めている。 学校行事への参加については、保護者により温度差が見受けられる。	保護者への連絡には 出席状況・健康状態、生活面・学費案内等が主体となっている。

最終更新日付	2025 年 5 月 20 日	記載責任者	廣江 真里
--------	-----------------	-------	-------

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	2	卒業生との交流はあるが、同窓会として組織化されていない。	同窓会設立へ向けての設立ロードマップの作成を行う。	ロードマップ作成のため、学内教員の二葉卒業生が、中心となり、同窓会準備委員会の設置。	特になし。
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	5	転職の際における企業紹介や、学校施設開放・技術指導等によりフォローアップしている。	就職支援室による転職企業紹介等のサポート。 学校施設開放の実施と個人技術サポート。	特になし。	・ホームページ ・インスタグラム

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生支援では組織的な整備は不十分ではあるが、個別支援として技術指導・学校開放など教務課が率先して行い、再就職先企業紹介は就職支援室と学生担当が連携しサポートしている。	二葉祭は11月、菓子大祭は2月に開催された。また、開催日は土日ということもあり、店舗勤務の卒業生の来校は少なく、卒業生等との交流の場が作れなかった。 今後は同窓会の開催を検討していきたい。

最終更新日付	2025年5月20日	記載責任者	廣江 真里
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校設備の整備は教育効果を考え、年間施設設備予算計画により改善を行い、授業に専念できる環境作りを行っている。 前年度計画していた三鷹店舗付実習室の天井壁の修理、4号館エレベータ改修工事及び、エアコンの取り換え工事、太陽光発電パネルの設置工事を年間設備計画通りに行った。 感染症対策の一環として通常の感染対策のほかに校内全教室定期噴霧消毒（毎月1度）を実施し、学生・教職員の感染防止に努めた。 防災に関しては、教職員で防災組織を構成し、防災計画を基に安心・安全な教育環境の提供に努めている。（年度別に防災計画を管轄消防署へ提出） 消防設備定期点検の関しては自動火災報知機・誘導灯・避難器具・消火器の点検を富士防災工業株式会社にて実施している。 防災設備・グッズに関しては製菓学校校舎に防災用ポータブル発電機・卓上ガスコンロ・雨用流水防止フェンス・学生・職員用防災セットなど、防災環境を整備している。	・ 鼠・衛生害虫のため侵入口の閉鎖、駆除対策など、衛生対策を強化したことにより、衛生的な環境を維持している。 ・ 企業等とのコラボレーションでは感染対策を取りながら丸井吉祥寺店（パン販売イベント）に参加を行った。 ・ 施設では計画通り学生に影響が出ない時期にエレベータの修理（7月末～8月初）、エアコンの取り換え工事および太陽光発電設備の設置工事（2月末～3月初）を実施した。 8月の記録的な大雨の影響により地下女子更衣室の壁が浸食（雨水）、約1/3が使用できない状態となった。原因を調査・修繕を計画。次年度はロッカーを移動し大規模な修繕を予定している。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	志村 裕子
--------	----------------	-------	-------

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	年間施設設備予算計画により必要性に応じ対応できるように整備を行っている。	施設設備改善では2024年度は計画通りに行った。	特になし。	・年間設備予算計画書 ・メンテナンス記録簿
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	経年劣化による施設のメンテナンス体制の強化。	メンテナンスは状況に応じて実施している。都度計画に順じて行っているが予算の関係上次年度に回すこともある。	施設・設備に経年劣化が生じるため、早めに計画・対応する。	・年間設備予算計画書 ・メンテナンス記録簿
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	4	教育環境を整備する為、更新・改善計画を適宜立案し、更新している。	学生の学内における生活環境の整備等、随時問題を検証する。	施設・設備に経年劣化が生じるため、早めに計画・対応する。	・年間設備予算計画書 ・メンテナンス記録簿

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の利便性・安全性を考慮し、施設設備の充実を図っている。 施設・設備の経年劣化進むため、注意を払い早め早めの対応をする。	随時、施設・設備のメンテナンスを行っているが、8月の記録的な大雨の影響により地下女子更衣室の壁が浸食（雨水）、約 1/3 が使用できない状態となった。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	志村 裕子
--------	----------------	-------	-------

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	5	業界企業との連携を強化し、年間を通じて企業実習研修を実施する教育体制を整備している。	企業訪問・企業実習研修等インターンシップを実施している。(年間企業研修計画書) インターンシップ活動賠償責任保険への加入。	特になし。	・実習研修成績票 ・実習出席確認票 ・職業教育連携協力協定書 ・社)東京都専修学校各種学校協会、(株)東京セントラル・日本興亜損害保険会社・三井住友海上火災保険(株)の加入証明書
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確しているか	5	各学科・学年共に研修確認表やレポートの提出と実習先の評価により実習実績の確認を行っている。	実習確認票・実習研修成績表やレポートの提出により実施内容を確認している。 学外実習発表会の実施。	特になし。	・実習出席確認票 ・実習研修成績表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
日頃より業界企業には、実習の目的を理解して頂いており、研修内容・条件等、充実した指導体制の中で学生を受け入れて頂いている。	学内発表会では本番で発表する代表者の選考を行い、学外実習発表会へ臨んだ。発表会には学外実習に参加した学年の他、次年度に学外実習に参加する学生も視聴した。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	志村 裕子
--------	-----------	-------	-------

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	5	教職員による防災組織及び地区担当消防署と連携することにより体制を整備、有効に機能している。	消防計画に基づき、防災教育を実施。 専門業者による年2回の消防設備点検の実施。	特になし。	・防火管理維持台帳 ・消防計画 ・消防設備定期点検表
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	5	消防計画に記載し情報を伝達。 消防設備定期点検による監視	火災報知機・誘導灯・避難器具・消火器の点検を富士防災担当者と本校防火管理者にて実施している。	特になし。	・消防計画 ・消防設備定期点検表
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	5	火気設備及び実習時火気使用時の注意・避難訓練時の避難方法等、教職員の体制は整備されている。 新たな防火責任者の配置	防災訓練時に実習時間等の事故防止について周知・徹底をしている。	特になし	・消防計画
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	災害傷害保険への加入により、災害発生時に備えている。防災グッズの学生配給は十分に処置をしている。	学生生徒災害傷害保険・賠償責任保険への加入。 学校賠償保険への加入。	特になし。	・(社)東京都専修学校各種学校協会、(株)東京セントラル・日本興亜損害保険会社・三井住友海上火災保険(株)の加入証明書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	4	年間3回の自衛消防訓練を実施している。	消防計画に基づく自衛消防訓練実施計画。	避難行動訓練の際、学生に避難経路や広域避難場所を再度確認、認識させる。	・自衛消防訓練実施計画書 ・防火管理点検表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日頃より防火管理者を中心に防災に対する意識の向上を心掛けているが、より教職員全体の危機管理がより一層必要と思われる。	年3回の自衛消防訓練を実施。（法令では年2回以上） 消防設備定期点検を年2回に点検・実施を行い、消防署に提出している。 学生に対し防災意識を高めるために、入学ガイダンスにて避難経路、避難場所の周知、9月（学生対象）と3月（教職員対象）に避難行動訓練を実施。 日頃より注意喚起し意識づけを心掛ける。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	志村 裕子
--------	----------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集は年次計画に基づき実施しており、学校訪問先と頻度については過去実績等から精査し、地域・学校を絞り込むことにより効率化を図って募集をしている。 児童や一般向けの公開講座を実施し、フード分野への興味関心を育む活動も積極的に実施している。 入学選考及び学納金は適切かつ妥当なものとなっている。	年間オープンキャンパスを実施し、吉祥寺二葉製菓専門職学校の特色やフード分野について説明している。また毎月夜間個別相談会・日曜相談会も実施し遠隔地や時間が取れない方へも十分な説明ができるようになっている。入学を検討する方々に本校の教育内容を十分理解していただくよう心掛けている。

最終更新日付	2025 年 6 月 5 日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	----------------	-------	--------

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	入試方法について、受験生、保護者、高校の先生方にご理解いただけるよう努めている。	高校訪問、入学相談会、オープンキャンパス、学校見学など面会時に適切な説明を行っている。	継続的な見直しと改善を行う。	・学生募集要項
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	十分に理解できる内容となっている。	資料を用意し情報の可視化をしている。	継続的な見直しと改善を行う。	・入学案内
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	入学相談室を設け、電話やインターネット(オンライン)での対応を行っている。	入学相談担当者を配置し、イベント対応や個別対応をしている。	個別相談、オンライン相談、LINE 相談への導線を増やし、すぐに対応できるようにする。	・入学案内 ・学生募集要項
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	広報室を設置し募集計画を企画し実行しているが募集定員の充足には至っていない。	オープンキャンパスの実施。 夜間個別相談会・日曜相談会の実施。学校見学の受け入れ。	リーフレット等の作成。ホームページの活用を図る。新たに夜間個別相談会・日曜相談会を実施。社会人のリスクリングなど、新たな層への打ち出しが必要である。	・体験入学等のリーフレット ・ホームページ ・メールマガジン配信

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し、オープンキャンパスを含めて相談会の実施や、随時窓口相談を受け入れている。教育内容の理解度を深める体制を取っている。	特になし。

最終更新日付	2025 年 6 月 5 日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	----------------	-------	--------

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	資料を作成している。ホームページに公開している。	必要に応じての配付。	同窓会と連携し、入学相談会やオープンキャンパス等で卒業生が直接、自身の体験を話していただけるような体制を整備する。	・入学案内 ・就職状況
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	活躍の教育成果として、就職一覧表の作成。	教育の結果が就職に反映している。	個人情報保護法内での情報開示。	・入学案内 ・就職状況

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し、卒業生の活躍（就職先・業務内容）について正確な情報を提供している。	特になし。

最終更新日付	2025年6月5日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	-----------	-------	--------

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考基準に照らして、選考を実施している。	入学選考表の作成。	特になし。	・評価票
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	年度ごとに数値の推移をまとめ把握している。	年度毎の出願者及び入学者の集計表を作成している。	特になし。	・年度別出願者及び入学者一覧

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、入学選考表（評価表）及び入学審査会に基づき行っている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月5日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	-----------	-------	--------

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当である。	財務関係書類で確認。 高等教育修学支援確認校である。	特になし。	・学則 ・募集要項
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している。	財務関係書類で確認。	特になし。	・学則 ・募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
j 学納金は、中長期計画に基づき理事会で決定される。	高等教育修学支援確認校であることで、負担軽減につながっている。

最終更新日付	2025 年 6 月 5 日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	----------------	-------	--------

基準 8 財務

(1/3)

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
① 教育活動収支 学生数の減少に伴い教育活動収入は 778,606 千円 (昨年度比 51,920 千円減)。教育活動支出 (人件費・教育研究経費・管理経費) は 777,31 千円 (昨年度比 39,840 千円減)。 ② 教育活動外収支 配当を重視した資産運用が伸長、また借入金利息の減少により 45,685 千円 (昨年度比 2,220 千増) ③ 経常収支 ①・②の結果により、45,685 千円 (昨年度比 9,445 千円減) ④ 特別収支 受取利息・配当を重視した資産運用により売買の機会が減少した影響により 18,66 千円 (昨年度比 15,333 千円減) ⑤ 基本金組入前当年度収支差額 64,349 万円 (27,311 千円減) 2024 年度は 4 号館の空調設備更新や教育研究機器の積極的な導入により流動資産 39,050 千円減少しました。 借入金の返済は 2025 年度末で終了することから、財務強化は進む傾向にあるものの、肝心の学生数が減少していることが喫緊の課題となっています。	数値は 2024 年度実績・() 内数値は 2023 年度実績 ①事業活動収支差額比率 7.6% (10.0%) となり 2.6 ポイント低下。学校運営という特性から固定費割合が高く、学生数減・収入減がそのまま反映された結果となります。 ・事業活動収入は、848,561 千円 (913,595 千円) 前年比 65,034 千円減となりました。 (内訳: 教育活動収入 778,606 千円・教育活動外収入 45,388 千円・特別収入 24,567 千円) 教育活動収入だけを比較すると、51,920 千円減 (830,526 千円) となります。また 2023 年度末から資産運用方針を資産売却から受取利息・配当を重視するようになり、資産売却に伴う特別収入 15,333 千円減 (39,900 千円) の影響となります。尚、資産運用方針の転換理由は以下の通りとなります。 当法人は「高等教育の修学支援新制度」の対象校として確認されています。対象校として機関要件を満たす必要があり、要件の一つとして『直近3年度いずれかの事業活動収支計算書の「経常収支差額」がプラスであること』とあります。経常収支差額に直結する収入は「教育活動収入」・「教育活動外収入」であり、教育活動外収入の内訳として「受取利息・配当」が含まれます。資産売却に伴う「特別収入」は経常収支差額には関与しないため、上述の資産運用方針に切り替えて、売却による利益よりも受取利息・配当を重視している次第です。そのため売却する機会が低減したことにより特別収入は低下しておりますが、「受取利息・配当」は 39,856 千円 (28,314 千円: 2022 年度) と 11,542 千円増と運用成果が上がってきました。

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	・教育活動支出は、777,316 千円(817,156 千円)前年比 39,840 千円減となりました。 「人件費」は 364,931 千円(390,992 千円)前年比 39,840 千円減。 2024 年 4 月 1 日時点 70 名の教職員でしたが、下期以降 7 名が退職した影響となります。業務見直しと採用活動を進め 2025 年 4 月 1 日時点 67 名で 2025 年度を迎えております。 「教育研究経費」は 302,552 千円(314,092 千円)前年比 11,540 千円減。 学生数は 481 名(531 名)10%ほど減少しておりますが、物価上昇の影響が大きく約 4%の低下に留まりました。 「管理経費」は 109,833 千円(112,072 千円)前年比 2,239 千円減少。 各費目で多少の増減の積み重ねで、特筆すべき項目は見当たりません。 ②人件費比率 44.3%(44.8%)となり 0.5 ポイント低下。 経常収入減ではありますが、想定外の退職に伴う人件費減の影響で人件費比率が低下しました。 採用競争力向上のため新卒を含めた若年層の賃金体系見直し・評価制度に沿った昇給など、平均賃金は上昇傾向にあります。収入面でみますと、2025 年度新規入学者は 2024 年度と同等であり、下げ止まりの兆候が見られます。また資産運用方針の見直し、2024 年度実習費等の値上げ、2026 年度には授業料値上げ認可などに取り組んでおります。更に競合校において「高等教育の修学支援新制度」の対象校認可を維持することが難しくなっている法人が見受けられなど好転する可能性があります。前回の理事会・評議員会と重複いたしますが 2026 年度の黒字化を喫緊の課題として取り組むことが人件費比率低下にも寄与すると思料いたします。 ③総負債比率 8.7%(11.0%)と着実に改善されました。借入金返済が予定通りに進捗しており、2 号館建設費借入金も予定通り完済予定となっております。負債には授業料などの前受金が含まれることから 0%になることはありませんが確実に財務強化できております。

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	④財務状況 2024年度末における借入金総額 0.72 億円 (1.50 億円)・流動資産 17.8 億円 (18.2 億円)となりました。 (流動資産内訳) 1.現預金等 6.9 億円 (8.7 億円) 2.債権等の安全性金融商品等 5.1 億円 (5.3 億円) 3.株式等の収益性商品 5.6 億円 (4.1 億円) 4.その他未収入金 0.227 億円。 資産運用規程では①40%・②40%・③20%を目標とした分散運用としており、2024年度末時点で①40.6% (48.3%)・②25.2% (26.0%)・③34.1% (25.7%)となりました。 中期計画で取り組んだ、全館空調設備改修工事などにより現預金が減少した事、また上述の通り、経常収支黒字の施策として投資信託・配当利回りの高い株式を購入した結果となります。2025 年度事業として計画しております 1 号館大規模改修工事によって大規模な工事は一巡するものの、今後も大幅に学生生徒等納付金が向上しない限り、③株式等の収益性商品による運用は必須と捉えております。その分、リスクも伴いますので、リスクヘッジとリスクテイクを鑑みて、分散運用の割合を含めた資産運用規程の改定を検討したく存じます。

最終更新日付	2025 年 5 月 29 日	記載責任者	寺島 秀親
--------	-----------------	-------	-------

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	引き続き、経常収入が経常支出を上回ることができ、財務基盤は着実に安定しつつある。	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)。	定員充足と収益事業・付随事業の強化。	・学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表) ・財産目録 ・資産運用規定 ・経理規定等
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	決算情報を開示しており、主要財務数値も私立専修学校統計と比較しながら把握している。	学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表)。	特になし。	・学校法人基礎調査(資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表) ・財産目録 ・今日の私学財政(日本私立学校振興・共済事業団発刊) ・経営指標統計

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
3 か年計画で取り組んだ全校舎の空調設備更新工事が完了した。総額 1.5 億円の投資であったが流動資産の減少は 39,050 千円に抑えることができた。	2025 年度末には 2 号館(吉祥寺二葉栄養調理専門職学校)の借入金が完済予定。とにもかくにも定員充足が最大の課題となっている。

最終更新日付	2025 年 5 月 29 日	記載責任者	寺島 秀親
--------	-----------------	-------	-------

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	事業計画および予算案を精査し、かつ学生募集状況を鑑みて期初に決定している。	各部署からの事業計画および予算、決算書。	特になし。	・事業計画書 ・予算書 ・評議員会議事録 ・理事会議事録
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	中長期計画及び単年度目標、事業計画に照らして執行され、予算と決算の差異は微差であった。	各部署からの稟議書起案に沿ってチェックしている。	特になし。	・事業計画書 ・稟議書 ・予算書 ・決算書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度予算計画に沿い、各部署からの予算請求を稟議書によるチェックをもつて適正に処理されている。 理事会において四半期毎に予実管理がなされている。	想定していた退学率を下回ったこと、受取利息・配当を重視した資産運用・補助金の積極的な活用により想定以上の経常収支を計上することができた。

最終更新日付	2025 年 5 月 29 日	記載責任者	寺島 秀親
--------	-----------------	-------	-------

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	会計監査は公正・正確に行われている。	監事および税理士による監査。	特になし。	・「決算書」 ・「監査報告書」
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年次決算の早期化が進み、監査、および評議員会諮問・理事会決議が計画通りに実行できている。	計画通りに実行できており、5月末までに所定の手続きを全て踏まえて確定できている。	特になし。	・「監査開催案内」 ・理事会開催通知 ・評議員会開催通知

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務については監査スケジュールを明確に定め適切な監査がなされた。	問題なく余裕をもって年間計画通りになされている。 税理士・監事が同席のもと会計監査はもとより経営課題を議論する体制が整えられている。

最終更新日付	2025年5月29日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	5月上旬までには決算が確定し、財務諸表を毎年5月末までに公開する体制が整備できている。	5月上旬までに監査を実施し、評議員会による諮問、理事会による決議を5月末までに行っている。	特になし。	・「財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)」
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	学校法人会計改正に即して行われている。	ホームページにて公開。	特になし。	・「財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)」 ※ホームページに記載

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
公的機関・教育機関としての説明責任を果たすべく、学校法人財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)をホームページにて公開している。	特になし。

最終更新日付	2025年5月29日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
組織において、法務に関する事項、行政指導、諸官庁からの通知等は明示管理しており、設置基準についても遵守し適切に運営をしている。 『個人情報保護法』は継続的に啓発するとともに、『個人情報保護規程』に従い個人情報の取り扱いには特に注意している。 2009 年度から「自己点検・自己評価」を実施し、その結果を公開するとともに問題等の改善に努めている。今後は、より積極的な公開・情報提供を行う。 2015 年度より学校医、産業医を委嘱契約し、引き続き学生ならびに教職員の安全衛生に努めている。	「自己点検・自己評価報告書」 「点検及び評価等実施委員会規定」 「学校保健安全法」 「安全衛生規定」 「特定個人情報規定」 「製菓衛生師法規定」

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	小川 万紀子
--------	----------------	-------	--------

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	法令や専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	私学行政機関からの通知指導等は各部署に回覧周知させ、重要案件については学園本部と協議し対応している。	特になし。	・養成施設指定基準に係る自己点検表
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	教職員、在校生に対しては適宜啓発活動を行っているが、なお一層の周知徹底が必要である。	回覧、定例の運営会議、科内会議、ホームルーム等で周知を図っている。	今後、より積極的かつ有効的な啓発活動を検討する。	・専修学校設置基準 ・学生便覧 ・製菓衛生師法

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令や専修学校設置基準等については、『養成施設指定基準に係る自己点検表』に則り適正に運営している。今後、教職員等への法令のより一層の周知徹底が課題である。	教職員の資格取得・スキルアップのため、教職員は研修会や講習会、コンテスト等に積極的に参加している。2020年度からはコロナ禍により、オンラインにて参加できる研修会等も多くみられ、教職員にとってはより参加しやすい環境になっている。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	『個人情報保護法』を遵守理解し啓発活動を行っている。	個人情報保護規定に沿って取扱いが行われている。 学生を含む学校情報の公開については、承諾が得られた場合のみ公開を行っている。	継続して行っている。	・個人情報保護法 ・個人情報保護規定
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	志願者、在校生、卒業生及び教職員に至るまで個人情報の扱いには常時注意しているが、啓発活動は不十分である。	個人情報を取扱う業務の際は、繰り返し注意を払うように指導している。	法令等のさらなる周知徹底を図る。	・個人情報保護法 ・個人情報保護規定

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の取り扱いについては、常時、注意喚起している。 学生に関するデータの保護、特にパソコン内に保管している情報の取り扱いには慎重な対応を求めている。	個人情報に関する記録媒体の持ち出しは厳禁としている。 加えて、必要に応じて記録媒体を使用する場合は、届け出を義務付けている。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的を実施し、問題点の改善に努めているか	3	自己点検・自己評価を毎年度実施、これを基に学校関係者評価へと繋げ、諸問題に積極的に取り組んでいるが、完全とは言い難い。	開催している学校関係者評価委員会の中で、外部委員の意見を取り入れながら改善に努めているが、不完全である。	外部委員の意見を教職員全員に周知し、学校全体の問題として討議、改善していく。	・自己点検・自己評価報告書 ・学校関係者評価委員会議事録
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	3	方針及びその目的は明確に定められているが、周知の徹底が不完全である。	目的及び方針は、自己点検及び評価基準等に明記されているが、周知徹底ができていない。	自己点検・自己評価に関する方針を学校全体に周知徹底する。	同上
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	方針を正確に伝えきれていないのが現状である。	委員会報告として運営会議で情報提供しているが、科員への周知が徹底されていない。	各部署間による一層の連携を進めていく。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「自己点検・自己評価」を実施するとともに、問題点の改善に努めているが、いまだ問題点の抽出が中途半端である。今後も問題点の抽出および改善策を確実に進めていく。 学校内外の関係者への自己点検・自己評価に関する情報提供はできている。	在校生による学級日誌、学生の授業評価等からの改善事項の要望については運営会議で検討し、可能な範囲で対応している。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	学校関係者評価委員会報告として情報提供している。	学校評価の公開により、社会的認知度向上をより積極的に図っている。	特になし。	・自己点検・自己評価等実施委員会報告書 ・学校ホームページ
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	ホームページで公開している。	特になし。	特になし	同上
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	情報公開は関係者に周知しているが、完全なものとは言い難い。	学内関係者において、周知徹底が不完全である。	学内および学外校関係者に正確に周知の徹底をする。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年度、『自己点検・自己評価結果』の公表を行っており、積極的な情報公開に務めているが、公表時期が遅延傾向にある。 2024年度の結果公表は8月までの公開を徹底する。	特になし。

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	小川 万紀子
--------	-----------	-------	--------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域で開催される各種の委員会・講演会・講習会・コンテスト・地産品の商品開発等へ本校の教職員を委員または審査員として 派遣し、また本校の施設を企業・団体・地域コミュニティに開放している。 行政機関・学校・業界団体や地域との連携・交流は積極的に行っており、地元の行政機関（武蔵野市観光課）の要請による講習会など、地元企業からの技術指導依頼等、積極的に協力を行い地域社会との連携には特に配慮を行っている。 SDGs（フードロスの削減・環境問題・衛生問題・エネルギー問題等）の取り組みについて学生・教職員に対する啓蒙活動は行っている。また、環境型社会の実現を目指し、二葉総合学園 3 号館に生ごみ処理機を導入している。今後の取り組みも枠を広げていく予定である。 学生のボランティア活動については、学生の自主的活動には教職員が支援協力を行っている。しかしながら、活動内容や活動時間の確保・安全問題等検討課題があり、積極的な奨励・支援体制等、今後活動の可能性について検討を進めていく。	<講師派遣> 中央職業能力開発協会 技能五輪国際大会選手強化委員会 都立高等学校 授業及び部活動 <地域イベント> ■ 丸井吉祥寺店 きちまるパンフェスティバル参加 5 月 31 日～6 月 2 日 ■ NPO 法人プレシャスネット 吉祥寺ハロウィンフェスタ 2024 お菓子配布 10 月 25 日～10 月 27 日 ■ 遊びのミニ学校武蔵野市民会館 ブッシュドノエル 12 月 21 日 ■ 第 4 回むさしの食育フェスタ 11 月 23 日 ■ 一般社団法人武蔵野市観光機構 むさしのプレミアム選 定委員 協力 <本校施設活用事業例> ■ 技能五輪リヨン国際大会 選手強化練習会 7 月 23 日・24 日 ■ 中央高等学院 吉祥寺本校 クリスマスケーキ講習会 12 月 11 日 ■ 私立藤村女子中学・高等学校クッキング部 製菓講習会 7 月 25 日 <ボランティア活動> ■ 吉祥寺献血ルームにてお菓子の配布 10 月・12 月・2 月実施 地域コミュニティ、イベントなど連携・貢献が出来ている。

最終更新日付

2025 年 6 月 2 日

記載責任者

永宗 喜昭

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	業界団体・機関、地域との連携・交流を積極的に行っている。	全日本洋菓子工業会・全国洋菓子連合会・日本菓子教育センター・東専各連・商工会等との連携を行っている。	特になし。	・学校ホームページ ・業界誌掲載 ・科内会議議事録
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	5	三鷹店舗付実習室においてイベント販売を行い、実践的な教育と社会貢献を行っている。生涯学習事業として適宜実施している。	学習機会の多様化に対応するため、製菓実習室を活用し、公開講座の開講や講習会・販売イベント等を開催している。	特になし。	・学校ホームページ ・公開講座規定
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	5	積極的に地域社会と連携している。	地域団体・業界団体・教育機関への学校設備、教室等の貸出を年間通して行っている。	特になし。	・学校ホームページ ・公開講座規定 ・施設利用依頼書
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	NA	行っていない。	本校は地域密着型の学校運営を標榜している。	当面、当該学校運営方針を変更する予定はない。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	3	必要に応じて、適宜行っている。	回覧、学内掲示、運営会議、学内メール等を通じて行政機関等の啓発活動に協力している。	積極的対応の必要性を認めており、今後、有効な啓発活動方法について検討する。	特になし。
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	温暖化対策、フードロスに対して、出来る限りの取り組みを行っている。	温暖化対策として空調・照明の省エネやクールビズに積極的に取り組んでいる。 フードロスに関しては、実習での食材の廃棄率の減少を意識している。	多方面にわたる社会問題への取り組みを広げていく努力が必要である。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各種委員会等への本校の教員を委員、講師として派遣するなど行政や学校等諸団体・機関、地域等との連携・交流を行っている。また、本校の施設を活用し、行政機関等からの委託事業にも積極的に対応している。 行政機関、業界団体、高等学校等と連携して製菓実習室を活用した製菓製パン講習会・講演会等も実施し、地域社旗との連携には特に協力体制を心がけている。 環境問題等の重要な社会問題について、学生や教職員に対して少しずつ積極的な啓発活動を行っている。適切な啓発活動方法については、今後さらなる検討を行う。 現在、温暖化対策として省エネ、フードロスには積極的に取り組んでいる。今後は、その他（SDGs等）の社会問題にも取り組みの枠を広げていく。	<地域・業界関係団体等主たる連携先> ・中央職業能力開発協会 ・武蔵野商工会議所 ・NPO 法人プレシャスネット（吉祥寺ハロウィンフェスタ事務局） ・日本菓子教育センター ・協同組合全日本洋菓子工業会 ・全日本洋菓子連合会 ・丸井吉祥寺店 ・公立・私立高等学校

最終更新日付	2025年6月2日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	-----------	-------	-------

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	依頼された際の募集ポスターの学内掲示は行っているが、積極的な支援は行っていない。	学生による自主的なボランティア活動に対して、学校として、適宜協力は行っている。	学生のボランティア活動の意義は認めるが、活動時間の確保等、可能性についての検討を要する。	特になし。
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	学生の自主的ボランティアに関しては、状況把握はしていない。	コロナ禍以前に実施していた学園関連の活動は再開されていないのが現状である。	今後、学生のボランティア活動の在り方・可能性について検討する。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動については、活動時間の確保や安全問題など検討すべき課題があり、積極的な奨励・支援態勢はとっていない。現在の自主的活動に任せている。学生のボランティア活動の可能性そのものについて今後検討する。	授業・実習が多く、学生は平日ほとんど学校に束縛されているため、ボランティア活動に積極的に取り組む時間の確保が困難である。 週末や夏休み等長期休暇での参加を今後は検討していく。

最終更新日付	2025 年 6 月 2 日	記載責任者	永宗 喜昭
--------	----------------	-------	-------